

新型7000系車両「カープ・トラム」がデビューしました



令和6年3月22日（金）、アストラムライン本通駅で新型7000系車両「カープ・トラム」のデビューセレモニーを行い、皆様に見守られながらデビューしました。

平成30年から約5年間、皆様に愛されながら走り続けた6000系車両「カープ・トラム」が令和5年10月に惜しまれながらも引退しましたが、その際、沿線にお住まいの皆様をはじめ多くの方から引退を惜しむ声をいただきました。その声にお応えするためにも新型7000系車両「カープ・トラム」を新たに運行することとし、3月22日（金）にデビューセレモニーを行いました。

デビューセレモニーでは、新型7000系車両「カープ・トラム」のお披露目、テープカットや記念撮影などを行いました。

また、広島東洋カープ アドゥワ誠 投手にご来場いただき、「カープ・トラム」へのコメントや車内ポスターにサインをいただくなど、デビューセレモニーを盛り上げていただきました。

＜アドゥワ投手のコメント＞

「すごくカープ愛が感じられる車両だと思いましたし、僕もこれを機にアストラムラインに乗ってみたいなと思いました。球場に行くのにも使ってほしいですし、この車両に乗ることができたら結構シアダと思うので、良い一日になると思います。皆さんもぜひカープだけではなく、サンフレッチェの応援にもアストラムラインを利用していただけると嬉しいです。」

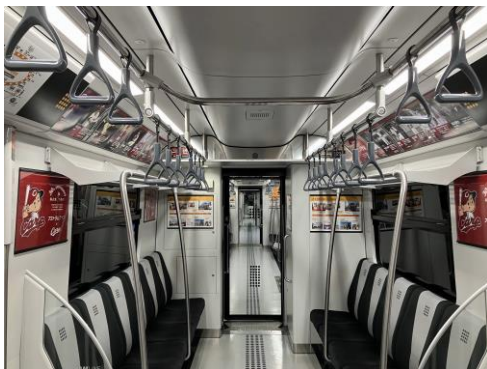


今回の新型 7000 系車両「カープ・トラム」は、車体にチームカラーである赤を基調とし、遠くからでも見えるようインパクトある大きさに全面に打ち出したカープ坊や球団ロゴを施し、車内には「動く歴史館」をコンセプトに広島東洋カープのこれまでの歴史年表やレジェンド選手、背番号今昔、当社の 30 年の歩みなど、ポスターで装飾しています。

【外観】



【車内 ※カープヒストリー、レジェンド選手、背番号今昔】



背番号 33
江藤智 菊池滂介
2度の本塁打王
にも選んだ
1996年には
2アールと全
打率.321を記
録した。

球団初の日本一
1979年、広島東洋カープは、初の日本一を達成した。この年、チームは、投手陣の充実と、打線の活躍により、リーグ優勝を果たした。この勝利は、チームにとって、歴史的な瞬間となった。

江夏の21球
1979年、江夏雅之乎は、この年、21球を投げ、勝利投手となった。この記録は、江夏の偉業を象徴している。

勝者の森登壇
1979年、この年、チームは、初の日本一を達成した。この勝利は、チームにとって、歴史的な瞬間となった。

○ 運行開始日

令和6年3月23日(土)

※通常運行となるため、運行時刻は日々替わります。

※車両の運用の都合により、運行しない日があります。